



かみの毛のメラニンは、どれくらいの大きさなの

メラニンはものすごく小さな色素

かみの毛のメラニンは、皮膚の下にある毛根の毛乳頭でつくられ、大きさは1万分の1～4ミリメートルと、ものすごく小さな色素（色のつぶ）です。

かみの毛の色を決めているのは、かみの毛の中のメラニン色素と空気の量です。日本人のような黒いかみの毛には、このメラニン色素がたくさん入っており、メラニン色素が少なくなるにつれて、黒からかっ色、そして、アメリカやヨーロッパの人のような、くり毛、金髪になっていきます。

しらがになるのはメラニンのせい？

かみの毛は、このメラニン色素がどんなに少なくなっても、かみの毛はうすいとうめいに見えるだけで、決してしらがにはなりません。

かみの毛は、小さな小さな細胞というものや、たんぱく質でできています。

しらがになるのは、何かの原因で、かみの毛の中心部分の、この細胞やたんぱく質が少しずつぬけ落ちていき、毛の中心部分に空どうができて、そこに空気が入るためです。

（監修 保志 宏）

